

●木津川希少種生育調査業務 21カ所の除草作業順調に進み完了

国交省近畿地方整備局淀川河川事務所から木津川の希少植物の生育調査業務の発注が河川協力団体と認定されている特定非営利活動法人やましろ里山の会に発注がされました。業務内容はこれまでお知らせしてきたとおり、木津川に生育する希少植物の植生調査と保全などのための除草作業となっています。生育調査は、これまでの調査活動をさらに定期的に精密に実施すればと見通しの立つものなのですが、問題は除草面積が8440 m²で24 kmの両岸21カ所に散らばっています。当初里山の会の実力では実行可能なか不安が先立っていました。何しろ現地は30度に近い急斜面で行う作業なので、危険性もかなり高いものと予想していました。

最初に、最北端の八幡市での除草機械の講習会を兼ねて6人で約100 m²の除草を行いました。参加者の感触は、やれそうという雰囲気では終わりましたが、続いて最上流部の大型植物が繁茂する木津川市小谷の除草に挑戦しました。ここではかなり大きく成長したススキが繁茂し、一部クズも含まれていました。かなりの大面積でしたが、半日の作業で終わられました。この二回の試みで得られたものは、これなら予想していたよりも軽く刈取りが可能だということで、思案するよりも実践をすることと自信がつかしました。結局木津川市加茂町では合計4日間最終日を入れると5日間の作業量ということになりました。

次に、私たちが最も生育に気を使っているマキエハギの生育地に挑戦しました。此処も木津川市です。ここの斜面がかなりきつく難しかったですが、2日間の作業でした。ここまで進んで来ると、残るは京田辺市内に点在するものです。タヌキマメやカワラサイコ、レンリソウといった貴重植物が集中するメーソンの場所となります。ここも合計3日間の作業で突破できました。この取り組みの中で予定にしていなかった場所もかなり、業者の方々には理解が十分されていなくて、モヒカン刈りに残された場所がかなりあって、目立ちました。それらを含めて発注面積の8440 m²が最終的には13950 m²になってしまいました。

予想をはるかに超える面積になりました。刈取り業者が自主的に一部刈り取ってくれていたところもあって大いに助かりました。除草作業には、播川理事長を先頭に深田前理事長、森島理事、山村常務理事、有田、青代新理事が大奮闘いただきました。

これまでの除草作業は、いずれも無事故で苦情もなく無事にやり遂げることが出来ました。第一回目ということもあって、安全の確保、無事故での作業完了に注意して行いました。当初の目的通りに完了できたことを皆さんへお知らせします。

◎ ハンマーモアの威力抜群 堤防斜面の草刈り

これまで主に里山農園で使用してきた自動走行で刈り取りが出来るハンマーモアの威力は優れたものです。この道具（機械）があつてこそ業務を短期間で完成することが出来たのです。肩掛けの刈払い機では、とても8440 m²という面積を刈り取ることが出来なかったでしょう。ところが京田辺市域に差し掛かってきますと、堤防の天端付近はさらに斜面が切り立ってきます。ハンマーモアの傾斜での刈取り許容範囲を超えることがしばしば発生します。するとエンジンにガソリンが送られなくなって、ストップしてしまいます。機械の安全保護が自動的に働きます。すると平面的な場所に戻ってスタートのやり直しとなっていました。これを繰り返すことになると、斜面を上り下りの繰り返しで本当に大変でした。

除草作業にかかわっていただいた皆様ご苦労様でした。今年の秋の作業はこれでひと段落となりました。次回は3月の芽出し前の除草からはじまります。刈り取る面積は秋の半分程度ですので、もう少しゆとりをもって作業ができると思われます。なれない作業で頑張ってくださいました皆様本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

●中聖牛を完成させて、竣工式 12月2日（土）10:00に開催

最後の作業「玉石の運び入れ」作業を参加者全員のバケツリレーで共同作業を予定しています。13:00から竣工式を行い、昆布茶で乾杯 全員の歌声で祝います バイオリンとアコーディオンそして、できれば大正琴の出演をお願いしています。水と川に関する歌声を張り切って歌いましょう、8月から取り組みを始めて約4カ月の長丁場を経て、完成を祝えるようになりました。これまでに、かかわっていただきました皆様は延べ262人の方々です。前回の竹蛇簞の製作と設置には180人のご参加がありました。今回は竹蛇簞の製作に加えて聖牛の組み上げ、そして玉石の運び込み等以前よりもさらに大変な作業が続きました。それに加えて台風の来襲で川の水位の上昇で流れ橋の流失（4年連続流失）、用意した資器材の再三の運び揚げなど右往左往させられ、当初計画が変更されることになりました。よくもこれだけ変更延期の繰り返しがあった中で、完成までこぎつけられたものです。関係者の皆様の一方ならぬご協力に感謝です。特に木津川出張所様には、これだけ不都合が重なった中、ご苦勞をいただきました。感謝いたします。

竣工式(祝い会)を予定している12月2日には関係者の皆様はもちろん、関心を持っていただいている皆様が少しずつ持ち寄った善意をいかに発揮して、玉石を投入して完成させましょう。まさに皆様お一人お一人の善意の賜物。玉石を投入して、いい川づくりにご参加ください。気兼ねなく気軽にご参加ください。心よりお待ちしております。